

信州の森林づくりアクションプラン

～ 間伐を進めよう！ 信州・長野の森林を元気にするために～

森林を守り育てていくためには、間伐などの森林整備が必要です。

今後、約10年間に約25万ヘクタールと県土の5分の1にあたる森林の間伐を実施することが必要であり、先送りできない時期を迎えています。

水源地、景勝・観光地、国・県道沿線などを中心に、**団地的**に間伐を進めます。

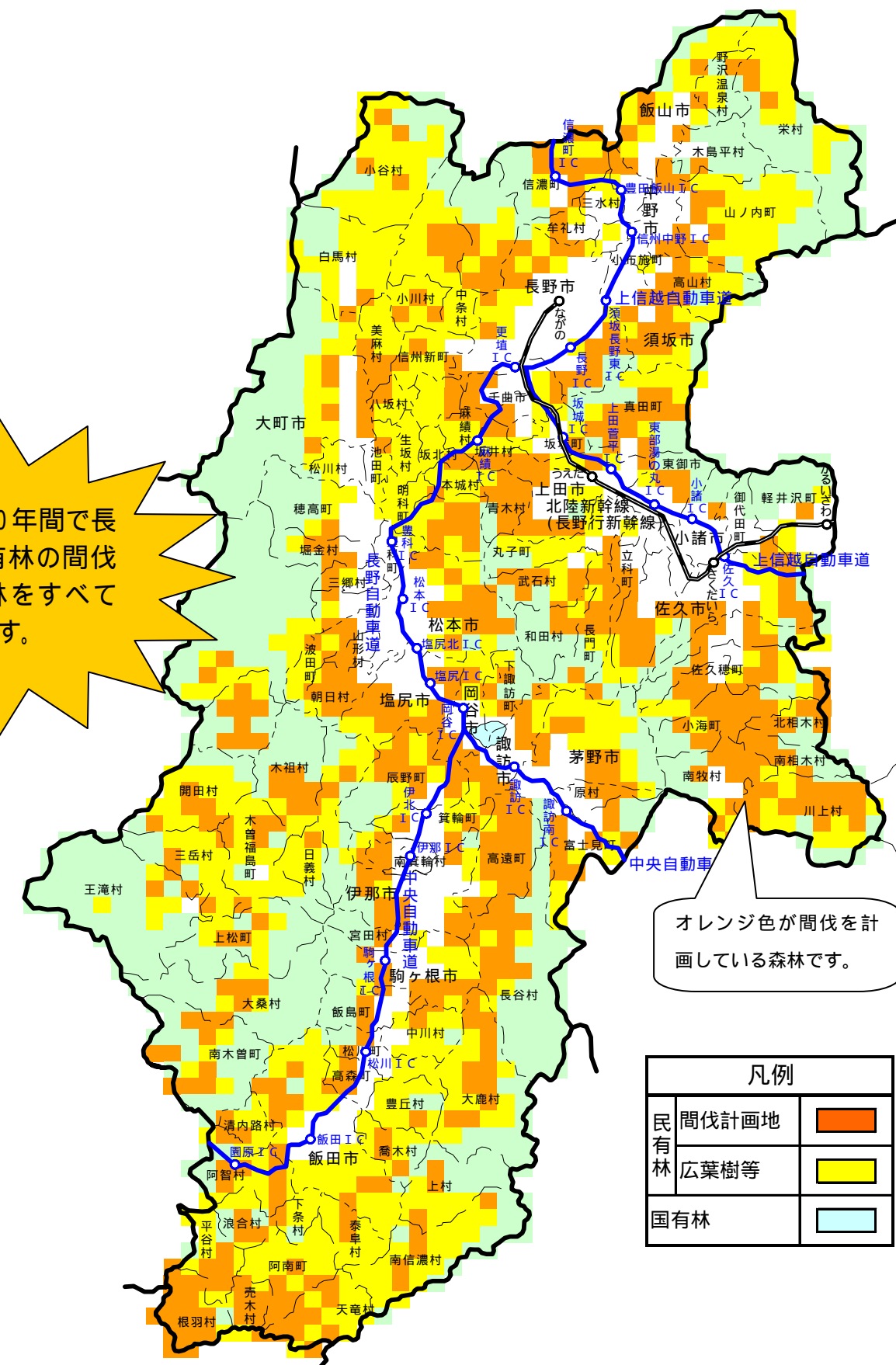
高性能林業機械による**列状間伐**を推進し、生産コストの低減を図ります。

針広混交林による健全な森林づくりを進めます。

森林所有者、県民の皆さんのご理解とご協力により、皆さんの税金を有効的に活用し、民有林の**間伐すべき森林をすべて手入れ**します。

今後、約10年間で長野県の民有林の間伐すべき森林をすべて手入れします。

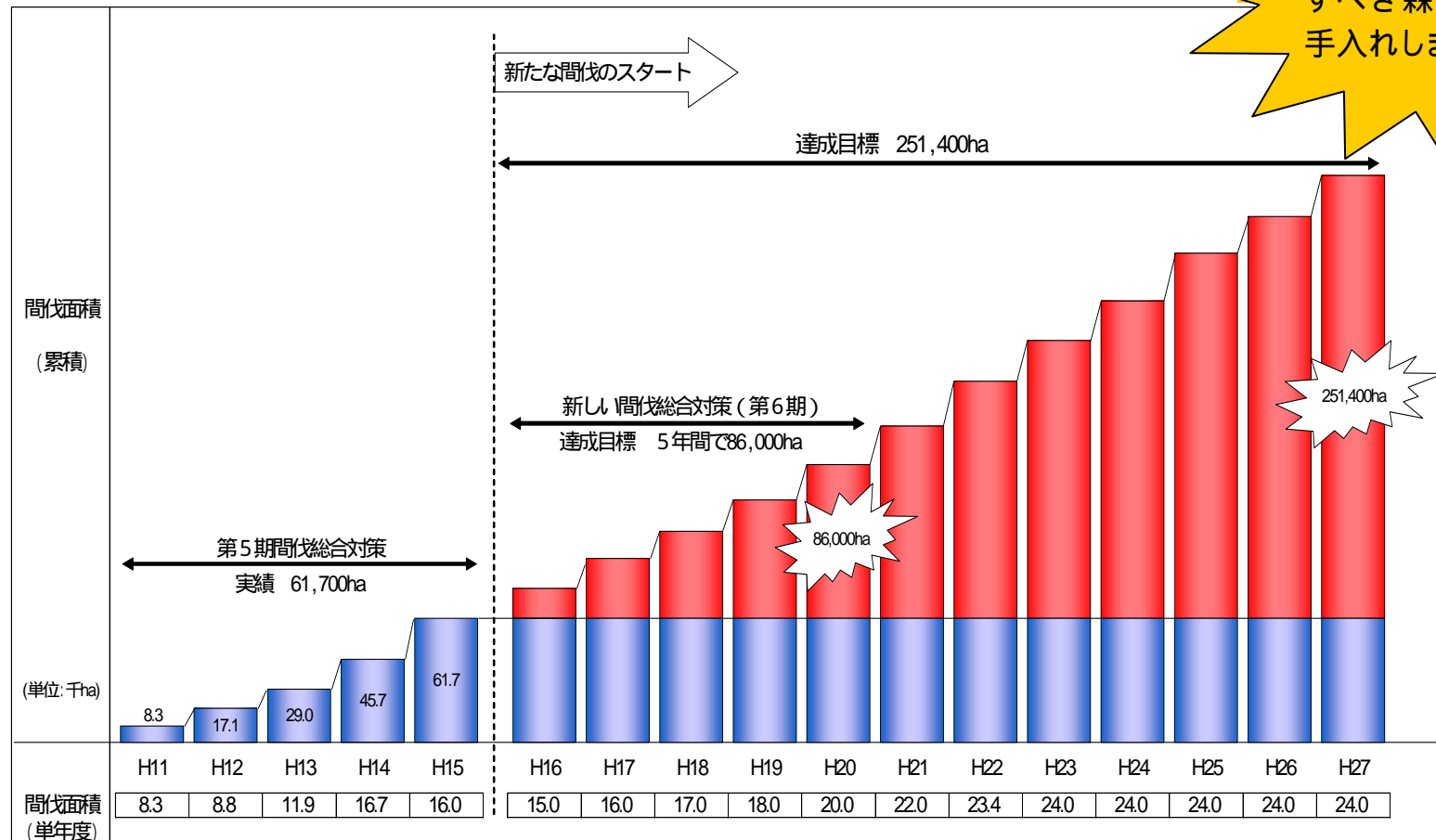
長野県の間伐マップ



オレンジ色が間伐を計画している森林です。

凡例	
民有林	間伐計画地
	広葉樹等
国有林	

間伐計画



今つくります！信州の木・ふるさとの森林（もり）

1 公益的機能が向上します。

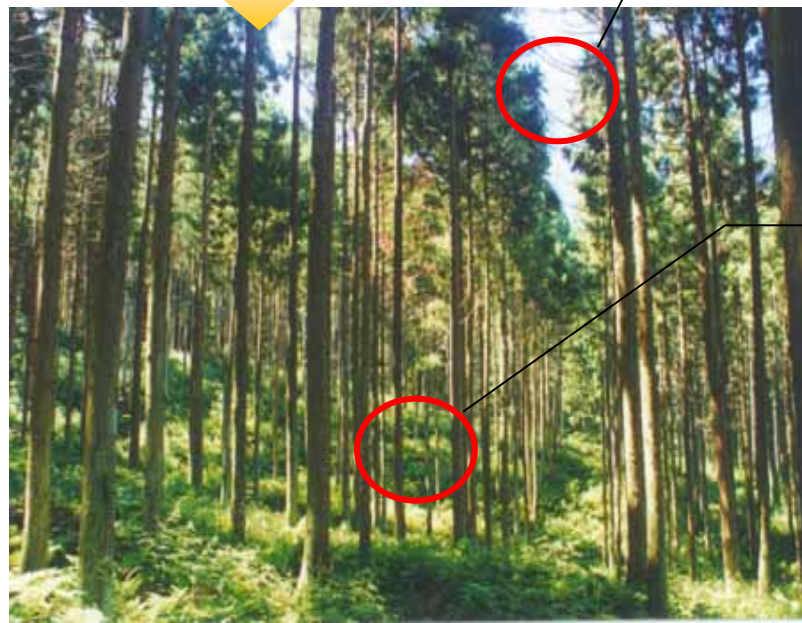


木の間に隙間ができて葉が十分に茂ります。

国土の保全
根が発達し、土砂の流出を防ぎます。

木材の生産
幹が太くなり、木材利用がしやすく、災害にも強い木になります。

CO₂の固定
二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防ぎます。



林内に光が当たり、植生が豊かになります。

土砂の流出防止
表面を流れる雨水による表土の流出を防ぎます。

水源のかん養
下草や落ち葉などによって、土壌が豊かになり水を貯えます。

保健休養
森林浴や森林レクリエーションなどに活用されます。

製材用



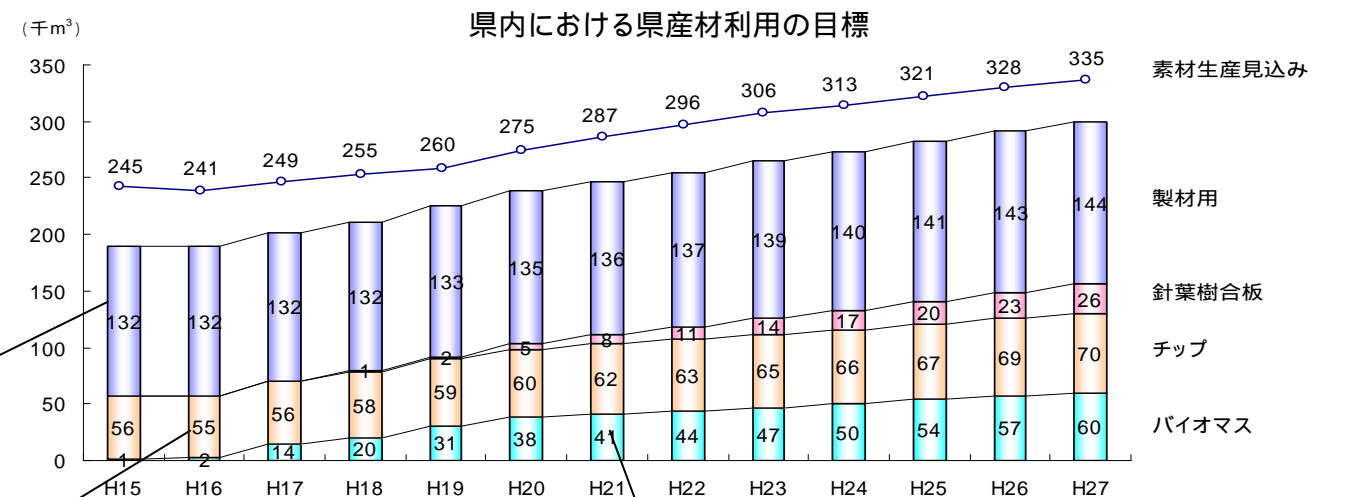
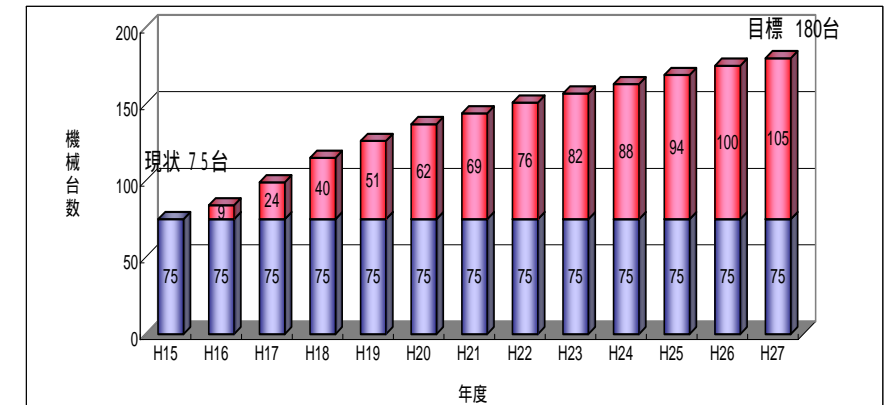
目標

信州の木を50%以上利用し、助成等を活用した木造住宅
年間 130戸(H15) 年間1,000戸(H27)

2 間伐材を有効に利用することで、循環型社会に寄与します。



高性能林業機械の導入によって間伐材の搬出・利用を促進します。



チップ用



バイオマス



目標

ペレットストーブ
190台(H15) 3,700台(H27)